

IDE/ID/NIT共催セミナー 脆弱性診断を起点とする、欧州拠点の情報セキュリティ運用のすすめ

11月14日(金)CEST 13:00 ~ 14:15

ご挨拶とセミナー趣旨

拝啓時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。平素はご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

この度、Information Development Europe(以下、「IDE」)では、Information Development (以下、「ID」)およびNewton Information Technology (以下、「NIT」)と共同でセキュリティセミナーを開催する運びとなりましたので、皆様にご案内いたします。

本セミナーのテーマである「脆弱性」とはソフトウェア、OS、ネットワーク機器などに潜む情報セキュリティ上の欠陥や弱点のことです。脆弱性はサイバー攻撃の起点として悪用される可能性があり、情報漏洩やサービス停止などの深刻な被害を引き起こすだけでなく、罰金などの法的制裁を科される恐れがあります。

通常、脆弱性が発見されると、製品を開発した事業者が脆弱性を修正するためのプログラム(パッチ)を公開します。そのため利用者は、ソフトウェアなどを常に最新の状態にアップデートすることが対策の大原則ですが、脆弱性を放置していたり、認識できていないケースが数多く見受けられます。そのため、脆弱性を見つけて、そのリスクや影響を評価する脆弱性診断が非常に重要になっています。

その一方で「脆弱性についての具体的なイメージが湧かない」、「脆弱性診断を実施するタイミングや進め方がわからない」、「今のやり方が正しいのか判断できない」といった声がよく聞かれます。

そこで本セミナーでは、社内で相談先がなく、参考にできる情報も少ない中で模索する欧州拠点のセキュリティ担当者向けに、脆弱性に関してベースとなる知識、および脆弱性診断への取り組み方を解説いたします。

サイバー攻撃の脅威から自社のシステムや情報を守るため、セキュリティ対策として定期的に脆弱性診断を取り入れる検討材料になるかと存じますので、是非この機会をご活用ください。

敬具

Information Development Europe
Managing Director
吉田 香織

開催概要

日程	2025年11月14日(金) CEST 13:00 ~ 14:15
配信形式	Zoom
参加費	無料
申し込み方法	次頁に記載
使用言語	日本語
対象	<ul style="list-style-type: none">「脆弱性」というワードだけ知っていて、基本的な内容を知らない方そもそも脆弱性診断の目的と必要性が分からない方診断をどのように行うのか理解しておきたい方

当日のアジェンダ

前半:「脆弱性診断の検出項目から学ぶ、情報セキュリティ運用のあるべき姿」(ID社)

- 脆弱性とは?脆弱性診断とは?
- 脆弱性診断の重要性とプロセス
- 診断結果に基づく情報セキュリティ運用計画の策定
- 診断の検出項目、および情報セキュリティ運用のアクションプラン

後半:「欧州拠点における脆弱性診断の具体的な取り組み方」(NIT社)

- 欧州の現実:攻撃トレンドと規制対応
- 脆弱性を放置することで起きる被害
- 脆弱性診断の種類と対策範囲
- 被害事例と対処方法
- 海外拠点で今やるべきこと
- 脆弱性診断関連サービスのご紹介

(※) 時間の関係上、Q&Aコーナーは今回設けておりません。当日もしご質問がございましたら、セミナー終了後のアンケートにご記載頂ければ幸いです。後日メールにて、順次回答をお送りさせていただきます。

お申込み方法

下記URL、もしくはQRコードより、Zoomセミナーのお申込みサイトにアクセスをお願いいたします。必要事項を記入後、「登録ボタン」を押してください。

【URL】

https://idnet-co-jp.zoom.us/webinar/register/WN_2m4kYaKMRmC9mSPEA6_Kag

【QRコード】



【お問い合わせ】

Business Development Manager: 唐鎌 宏行
Email: karakama-h@idnet.co.jp

Client Relationship Manager: 鈴木 百合奈
Email: suzuki-yur@idnet.co.jp